

資料4 地質調査資料

H30_倉敷市中央斎場施設整備事業に伴う地質調査業務委託 より抜粋

ボーリング柱状図

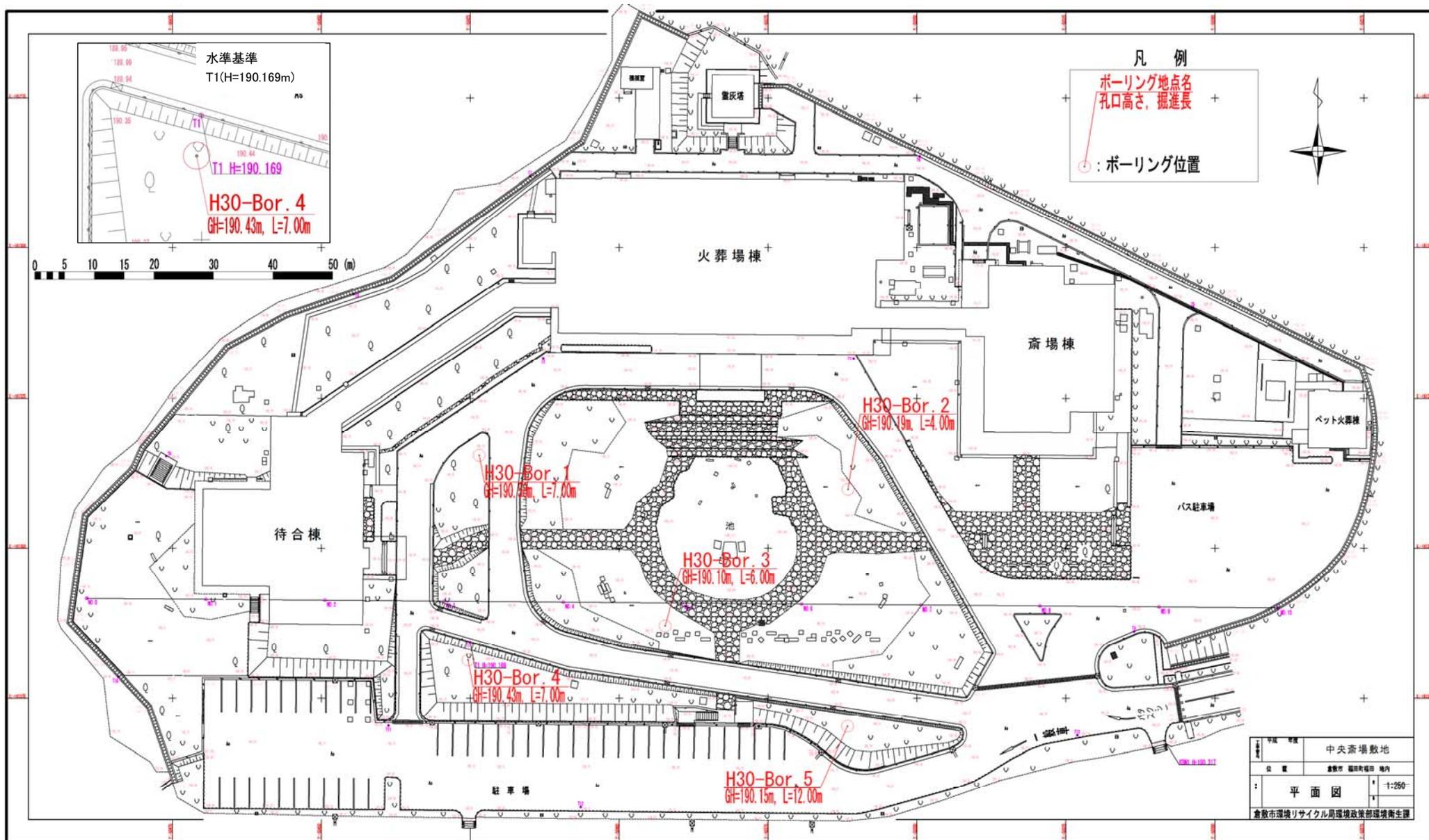


図1.1.2 調査位置図 (縮尺:任意)

ボーリング柱状図

調査名 倉敷市中央畜場施設整備事業に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H30-Bor.2		調査位置	倉敷市福田町福田434-1地内				北緯	34° 32' 39.9"								
発注機関	倉敷市 建設局 建築部 公共建設課				調査期間	平成 31年 2月 6日 ~ 31年 2月 7日		東経	133° 47' 4.7"								
調査業者名	株式会社 イガタ地質 電話 (086-445-1569)		主任技師	井形 一良		現代場代理人	長尾 保	コ鑑定者	ア	長尾 保	ボーリング責任者	井形 一彦					
孔口標高	190.19m	角	180° 上 90° 下 0° 0'		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	試錐機	東邦地下工機製D1型		ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	4.00m	度			向			エンジン	ヤンマー製 NFD12型		ポンプ	東邦地下工機製BG-3C型					

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験		試験名および結果	深さ (m)	採取番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進
											深	度						
											0	10						
190.14	0.05	0.05			表土	暗褐色			シルト混じり中粗砂。コケや根、φ10mm以下の礫を10~20%混入。									
189.79	0.35	0.40			粘土質砂	褐色			細粒分40~50%。細礫少量。									
189.59	0.20	0.60			玉石混じり砂	褐色			粘土質砂主体。推定径90mm(L=30mm程度)の玉石を混入。									
1					花崗岩 (軟岩 I)	黄褐色			土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは強い指圧で碎けて、細礫混じり砂状になる。部分的に中硬質な未風化部が玉石状に残留する。	1.15	12	18	20	50	52			
2					花崗岩 (軟岩 I)	白灰			土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは強い指圧で碎けて、細礫混じり砂状になる。部分的に中硬質な未風化部が玉石状に残留する。	1.44	23	27	30	50	150			
3					花崗岩 (軟岩 I)	淡青			比較的新鮮な花崗岩(CH級)。コアは、5~15cmの柱状で採取。岩質は硬く、ハンマーで叩くと澄んだ音を発す。部分的に割れ目周辺が、礫状を呈す。	2.00	30	30	30	50	214			
3	187.09	2.50	3.10		花崗岩 (中硬岩)	淡青			比較的新鮮な花崗岩(CH級)。コアは、5~15cmの柱状で採取。岩質は硬く、ハンマーで叩くと澄んだ音を発す。部分的に割れ目周辺が、礫状を呈す。	2.10	30	30	30	50	214			
4					花崗岩 (中硬岩)	淡青			比較的新鮮な花崗岩(CH級)。コアは、5~15cmの柱状で採取。岩質は硬く、ハンマーで叩くと澄んだ音を発す。部分的に割れ目周辺が、礫状を呈す。	3.07	30	30	30	50	214			
4	186.19	0.90	4.00		花崗岩 (中硬岩)	淡青			比較的新鮮な花崗岩(CH級)。コアは、5~15cmの柱状で採取。岩質は硬く、ハンマーで叩くと澄んだ音を発す。部分的に割れ目周辺が、礫状を呈す。	4.00	貫入不能			50	0			
										4.00	貫入不能							

ボーリング柱状図

調査名 倉敷市中央畜場施設整備事業に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H30-Bor.3	調査位置	倉敷市福田町福田434-1地内				北緯	34° 32' 39.1"			
発注機関	倉敷市 建設局 建築部 公共建設課	調査期間	平成31年2月8日 ~ 31年2月12日		東経	133° 47' 3.4"					
調査業者名	株式会社 イガタ地質 電話(086-445-1569)	主任技師	井形 一良	現代場人	長尾 保	コ鑑定者	長尾 保	ボーリング責任者	井形 一彦		
孔口標高	190.10m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦地下工機製D1型 エンジン ヤンマー製 NFD12型	ハンマー 落下用具	半自動落下
総掘進長	6.00m	度	0°	向	180°			ポンプ	東邦地下工機製BG-3C型		

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	深 (m)	試料番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進 (m)				
												深 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)											
													0	10	20												
189.90	0.20	0.20			表土 暗褐灰~褐灰					中粗砂主体。コケや根、φ5mm以下の礫を10~20%混入。																	
189.40	0.50	0.70			礫混じり粘土質砂	褐~褐灰				中粗砂主体。細粒分20~40%。φ30mm以下の礫を10~20%混入。																	
188.70	0.70	1.40			玉石	淡青灰				玉石・転石が連続する。コア長50~350mmの硬質柱状コアで採取される。																	
188.05	0.65	2.05			礫混じり粘土質砂	褐	中位			中粗砂主体。細粒分20~40%。φ40mm以下の礫を10~20%混入。	1.55	4	6	8	18/30	18											
187.30	0.75	2.80			花崗岩(礫混じり砂)	褐~淡褐灰				土砂状に風化した花崗岩(DM級)。コアは弱~中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。新々に軟質な岩片が残留する。	1.85	12	14	18	44/30	44											
185.60	1.70	4.50			花崗岩(軟岩II)	淡褐灰				やや褐色風化した花崗岩(CM級)。10cm程度の柱状コアで採取される。コア肌やや粗く、ハンマーで叩くと容易に割れる。割れ目周辺が幅1~5cmで土砂化している。青灰色の硬質部が玉石状に残留する。	2.15	12	14	18	44/30	44											
184.10	1.50	6.00			花崗岩(中硬岩)	淡灰~淡青灰				比較的新鮮な花崗岩(CH級)。コアは、10~15cmの柱状コアで採取。岩質は硬く、ハンマーで叩くと澄んだ音を発す。部分的に割れ目周辺が礫状または土砂化している。深度5.35mは割れ目沿いに幅1cmが土砂化する。深度5.8m、6.0mは割れ目周辺が軟質化する。	2.45	12	14	18	44/30	44											
											2/13 3.80	4.00	4.00	4.00	50/0												
											5.00	5.00	5.00	5.00	50/0												
											6.00	6.00	6.00	6.00	50/0												

ボーリング柱状図

調査名 倉敷市中央畜場施設整備事業に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H30-Bor.4		調査位置	倉敷市福田町福田434-1地内				北緯	34° 32' 38.9"								
発注機関	倉敷市 建設局 建築部 公共建設課				調査期間	平成31年2月18日 ~ 31年2月21日				東経	133° 47' 2.2"						
調査業者名	株式会社 イガタ地質 電話(086-445-1569)		主任技師	井形 一良		現代場人	長尾 保		コ鑑定者	長尾 保		ボーリング責任者	井形 一彦				
孔口標高	190.43m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	試錐機 東邦地下工機製D1型		ハンマー落下用具	半自動落下		
総掘進長	7.19m	度	0°		向	0°		エンジン	ヤンマー製 NFD12型		ポンプ	東邦地下工機製BG-3C型					

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	深 (m)	試料採取番号	採取方法	室内試験 (掘進月日)
											深 (m)	10cmごとの打撃回数 (0, 10, 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値						
100.28	0.05	0.05			表土	暗褐色			中粗砂主体。コケや根、φ10mm以下の礫を10~20%混入。											
1					礫混じり粘土質砂	褐色		非常に緩い	細粒分を不均質に20~40%含有。φ5~40mmの礫を10~20%混入。深度2.4mに玉石を(L=50mm)を混入。	1.15	1	1	2/15	4/35	3					
2					花崗岩 (礫混じり砂)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは弱~中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。岩組織はやや不明瞭。	2.15	3	4	2	9/30	9					
187.93	2.45	2.50			花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	2.45	7	13	16	36/30	36					
4					花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	3.15	18	32	5	50/15	100					
186.43	1.50	4.00			花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	4.15	17	33	9	50/19	79					
5					花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	4.30	22	24	4/1	50/21	71					
6					花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	5.15	26	24	4	50/14	107					
7					花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	5.34	7.05	26	24	4	50/14					
183.24	3.19	7.19			花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	6.10	6.31	26	24	4	50/14					
					花崗岩 (軟岩I)	白灰		黄褐色	土砂状に風化した花崗岩(DH級)。コアは、コア形を保つが中位の指圧で崩れて、細礫混じり砂状になる。深度6.0m以深では部分的にφ10~20mm程度の軟質な岩片が残留する。	7.05	7.19	26	24	4	50/14					

